

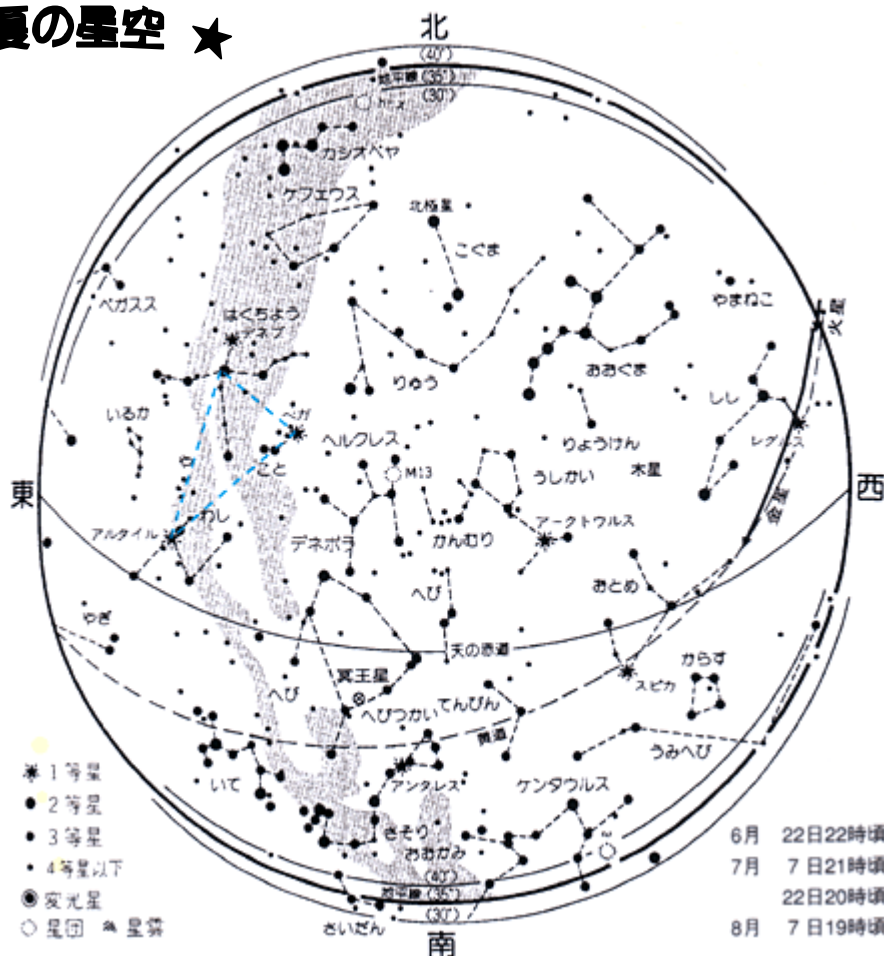
もうすぐ夏です！ 緑いっばいの山々、日差しがまぶしい海、どちらも魅力的で待ち遠しいー！
だけど、夜になったら空も見あげてみようよ。 いっばいの星たちが迎えてくれますよ！

★ ラインナップ ★

夏の星空 天の川を旅しよう！
今年の夏はこれを見よう！ 天文トピックス
ちょっとオススメ！ 「太陽のかさ」
プラネタリウム夏番組のお知らせ

<イベント情報>も
盛りだくさん！
ぜひ参加してね！

★ 夏の星空 ★



夏は、夜空がとっても賑やかな季節。北の空から南の地平線まで、頭の真上を帯状に広がっている天の川、そしてそのまわりには、見ごたえのある星座や星たちがたくさん並んでいます。こんな天の川に沿って、旅してみたい！なんて思いませんか？

宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」は、そんな天の川を旅する物語。夏の夜空を天の川に沿って旅する銀河鉄道は、白鳥の停車場（はくちょう座）から終点サザンクロス（みなみじゅうじ座）で終わります。白い十字架が見えてきたら、そこは白鳥の停車場です。ここを過ぎると見えてくるのがアルビレオの観測所。サファイアとトパーズにたとえられた

美しい青と橙の二重星が目印で、ちょうどはくちょうのくちばしにあたります。その先には鷺の停車場（わし座）さらに進むと天の川が二つに分かれたところにやってきます。ここはちょうどいて座付近で、天の川の中に暗い暗黒星雲がたくさん見られるところです。川の向こうには、真っ赤な火・さそり座のアンタレスが燃えています。やがてケンタウルスの村を過ぎると、終着駅サザンクロスです。「青や橙やもうあらゆる光でちりばめられた十字架」と表現された南十字星は、南天の星空でひときわ目を惹く美しい星座。ぜひ一度見てみたいですね。

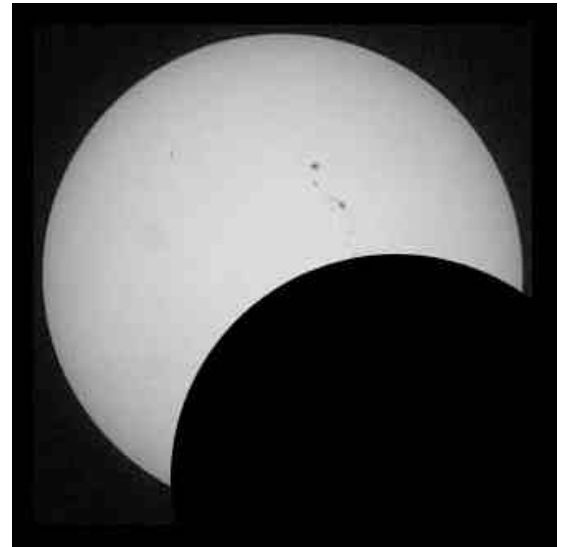
このように「銀河鉄道の夜」は、北と南、ふたつの十字架を旅する物語なのです。

★ 今年の夏はこれを見よう！ ★

< 部分日食 >

6月11日の朝、太陽の約40%が欠ける部分日食が全国的に観測できます。日食とは太陽が月によって隠れる現象で、太陽の一部を月が隠す場合を部分日食と言います。

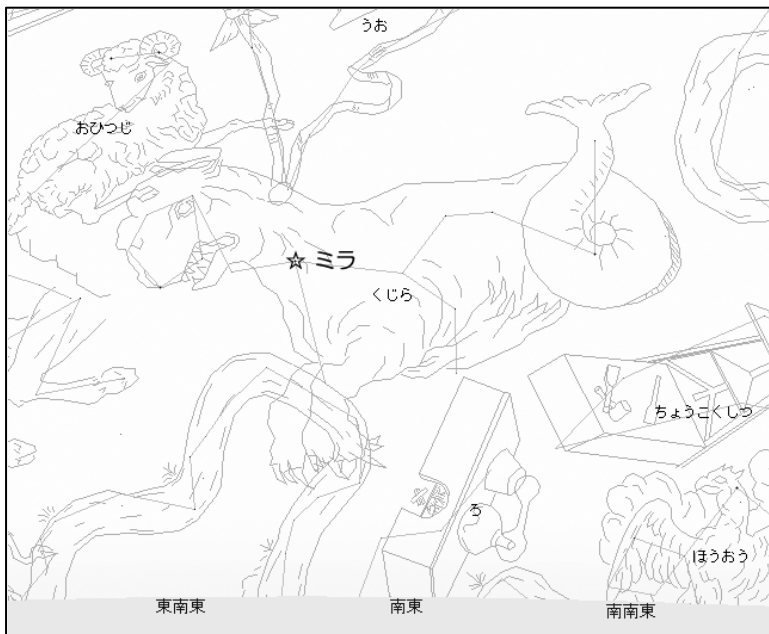
岡山では月が太陽の40.1%を隠し、日食の始まりは11日午前6:41、日食の最大は午前7:35、日食の終わりは午前8:34となっています。この程度の欠け方では、太陽の明るさは普段とそれほど変わらないので、肉眼ではまぶしくて部分日食の様子は分かりにくいかもしれません。なので、日食用のサングラスを使って眺めるなど、太陽の光を減光して、眼を痛めないよう注意しながら楽しみましょう！



< こんなふうに見えましたか？ >

日本で部分日食が見えている頃、太平洋上では金環日食を見ることができます。これは、太陽が月にすっぽり隠され、太陽の縁の部分のみが金の環のように輝いて見える現象です。残念ながら、この金のリングを見ることができる地域は大平洋上のため、日本では観測できません。

< くじら座のミラ 明るさが極大に！ >



< 7/24 AM3:00 頃の南東の星空 >

次にミラが極大光度を迎えるのは来年の6月です。くじら座は秋の星座で6月には見えないので、来年以降、しばらくは極大光度のミラは観測できなくなります。

くじら座の心臓の位置に赤く輝く星ミラが、7月23日頃に最も明るくなる極大光度になります。

ミラとは、“不思議なもの”という意味。その名の通り、ミラは332日の周期で明るさが2.3等から10.1等まで変化する不思議な星なのです。このように明るさが時間とともに変化する星は変光星と呼ばれ、16世紀末のミラの発見から変光星の存在が発見されました。

ミラはこの時期、夜明け前の東の空で見ることができます。極大光度は2等から4等の間で変化するの肉眼でじゅうぶん見ることができます。ぜひ近くの星と明るさの変化を比べてみましょう。

<ペルセウス座流星群>

しし座流星群ほど話題にならないものの、毎年活発に流れ星を見せるペルセウス座流星群の季節がやってきます。今年の流れ星出現のピーク（極大）は8月12日～13日。この時期のペルセウス座は、夜半過ぎから夜明け前にかけて高く昇ってきます。この時間には月も沈み、月明かりのない絶好の条件で楽しめそうです。

見頃...極大予想日が最高のチャンスですが、その日の前後 2、3 日間でも普段より多くの流れ星を見ることができます。よく晴れた夜がチャンスです！

見る場所...より多くの流れ星を見るためにはなるべく暗く、空気の澄んだ場所（よく星が見える場所）を選び、街灯などの余分な光が眼に入らないようにして、全天を眺めるようにして流れ星が降ってくるのを待ちましょう。もちろん、明るい流れ星であれば街中でも見ることができます

8月は他にも、みずがめ座流星群やほくちょう座流星群も活動しているので、多くの流れ星を見ることができそうです。



★ 天文トピックス ★

6月11日：日本全国で部分日食（太平洋上で金環日食） <頑張って早起きしようね！>

6月21日：夏至（昼が1年で一番長い日） <夏本番です！>

7月23日：くじら座のミラが極大 <ちょっと夜更かしして見てみよう！>

7月25日：夜明け前の東天で土星とかに星雲が大接近 <望遠鏡じゃないと見えないぞ！>

7月29日：みずがめ座 流星群極大

8月2日：やぎ座 流星群極大

8月6日：みずがめ座 流星群極大

8月12～13日：ペルセウス座流星群極大 <待ちに待ったペルセ。さてたくさん見れるかな？>

★ ちょっとオススメ ★

先号 vol.5:春号 の「真ん丸い虹：虹のかたち」の最後に太陽の虹：かさ(暈)のことを書きましたが、先日その太陽の虹を見ることができました。

太陽の周囲に、はっきりと淡い赤色に色づく光の輪=太陽のかさ(日暈：ひがさ)。良く見ると、輪の内側が赤く、外側へ行くに連れて黄色くなり、やがて青くなっています。まさに虹です！

<博物館で見れた暈(4/27 お昼):
カラーでお見せできなくて残念>



太陽のかさは、観察者と太陽を結んだ線を中心にして、左右 22 度の位置に見える「うちかさ(内暈)」と、46 度の「そとかさ(外暈)」があります。内暈の方が多く見られるようで、この日見たものも...内暈の方でした。

かさ(暈)ができるのは“巻層雲：けんそううん”が空に広がったとき。巻層雲は、白くて薄いヴェールのような雲で「うす雲」と言われています。温帯地方では、約 5~13 キロメートル上空にできます。この高度の雲は、氷の粒でできていて、その氷の一粒一粒がプリズムの役目をして光が反射し、太陽や月のまわりに“かさ”と、言われる“輪”ができるのです。

太陽のかさ(暈)を見て「うわっ、でっかあ~」と、思いました。以前、月の暈を見た時には「これかあ~」と半信半疑でしたが、それでも感激しました。けど、その土地に暮らす人にとっては、よくあることなのでぜんぜん感心がありませんでした。

みなさんも、昼夜かかわらず空を見上げて楽しい出会いをしてみてください。

おまけ

お天気関連のことわざに〔巻層雲がつくるかさ〕にまつわるものがいくつかあります。そのほとんどは「太陽や月に かさ がかかると雨。」と、いうものですが“かさ”があらわれても雨になる確率は、約 50% くらいだそうです。太陽や月の“かさ”で天気を占っても半分ほどしか当たらないのですね。

プラネタリウム夏番組 6/8 から投映中！

《銀河鉄道 999 消えた太陽系》

あの名作“999”が...ついに、プラネタリウム番組に登場！！鉄郎・メーテル・車掌さんに、新キャラクター・エターナルが加わり、プラネタリウムの星空を舞台に、駆けぬけていく 999 (スリーナイン)号。目指すは、はるかかなたの銀河。エターナルの目的が明らかにされていくなか、エターナルの運命が...！ 松本零士作品ファンの方、そうではない方も、じゅうぶん楽しんでいただける番組です。エンディングには、ゴダイゴが歌うテーマ曲がたっぷりとながれ、思わず一緒に歌いたくなりますよ。どうぞお楽しみに！！



< 編集後記 >

最近ずっと前から見たかった《地球交響曲 第三番》をやっと見ることができました。ますます、スター・フィールド・ウェイ・マンに惹かれています。 Satomi

わーい、999 がやってきました！ 子どもの頃から 999 が大好きで、いつかメーテルと一緒に銀河鉄道に乗りたいかった私。今年の夏は宇宙へ向けて出発だぁー！？ Yumi

この博物館通信は、岡山天文博物館が作製しています。次回秋号は、9 月発行予定です。

岡山天文博物館 浅口郡鵬方町本庄 3037-5 TEL・FAX 0865(44)2465 休館日：月曜・祝日の翌日

博物館ホームページ <http://www.rweb.ne.jp/astro/index.html>

夏は博物館へ行こう！

今年もいろんなイベントが目白押し！

あなたはどれに参加する??

「スターウィーク ～星空に親しむ週間～」

「スター・ウィーク ～星空に親しむ週間～」は、毎年8/1～7の1週間を中心に「子どもから大人まで幅広く星空に親しんでもらおう！」という趣旨のキャンペーンです。

今年のテーマは「今宵、家族で星空散歩」。ぜひみなさんも、友人や恋人同士、そして家族で星空を眺めてみませんか？

<スター・ウィークに関する詳しい情報はこちら <http://www.nao.ac.jp/pio/starweek/>>
岡山天文博物館もスター・ウィークに賛同しています！ さまざまなイベントを用意してお待ちしています！（詳しくはこのチラシを見てね）

「太陽黒点スケッチをしよう！」

日 時：8/1～7（ただし晴天のみ）

場 所：岡山天文博物館 裏庭

参加費・申込み：不要

（ただし入館料が必要です）

11年周期で活動期を迎える太陽は、今もまだまだ活動中です！ この機会に、太陽のほくろ（黒点）を観察しちゃおう！

「星座ランキング」

日 時：8/1～8/31

場 所：岡山天文博物館

参加費・申込み：不要

（ただし入館料が必要です）

あなたの好きな星座はどれですか？ みなさんの投票によって1位に輝く星座はいったいどれでしょう??

「プラネタリウム特別投映「夏の星空紀行」

日 時：7/27（土）28（日）

12:30～（約30分）

場 所：岡山天文博物館プラネタリウム室

参加費・申込み：不要

（ただし入館料が必要です）

夏は星空がきれいな季節！ そんな星空にまつわるお話や星たちの紹介など、素敵な音楽に合わせて紹介します。夏気分を満喫しましょう！



「水で遊ぼう！ かんたん実験」

日 時：8/4（日）14:15～（約30分） 場 所：岡山天文博物館展示室

参加費・申込み：不要（ただし入館料が必要です）

あつ～い夏はやっぱり水遊びが一番！ ということで、水を使ったかんたんな実験を紹介します。みんなも一緒に遊べるよ！

「マイ望遠鏡を作ろう！」

望遠鏡工作キットを使って、自分だけの望遠鏡をつくっちゃおう！ 月のクレーターだって見れちゃうぞ。

日 時：8/17（土）13:00～（約2時間）

場 所：岡山天文博物館展示室

参加費：2500円（入館料含む） 対象：小学校3年生以上（定員15名）

申込み：鴨方町内の方は 鴨方町教育委員会（0865-44-7001）へ

鴨方町外の方は 岡山天文博物館（0865-44-2465）へ お申込みください。

<申込みは7/20からです！ 定員になり次第、締め切りますのでご了承ください>

「ペットボトルでプラネタリウムを作ろう！」

あのペットボトルを使って、家でも楽しめるミニプラネタリウムをつくろう！

日 時：8/18（日）13:00～（約2時間）

場 所：岡山天文博物館展示室

参加費：1000円（入館料含む） 対象：小学校3年生以上（定員15名）

申込み：鴨方町内の方は 鴨方町教育委員会（0865-44-7001）へ

鴨方町外の方は 岡山天文博物館（0865-44-2465）へ お申込みください。

<申込みは7/20からです！ 定員になり次第、締め切りますのでご了承ください>

こくりつてんもんだいおかやまてんたいぶつりかんそくじょ

国立天文台岡山天体物理観測所 特別公開日 ~ もう1つの太陽系を探せ(系外惑星探査)

けいがいわくせいたんさ

日 時：8/24（土）10:00～16:30

場 所：国立天文台岡山天体物理観測所・岡山天文博物館

参加費・申込み：不要（当日は観測所も博物館も無料公開です！）

「天文学者ってどんなことをしてるの？」

「観測ってどういうふうにするの？」

などなど、宇宙に興味があるみなさん、ぜひこの機会に天文台を見学しませんか？天文台の紹介はもちろん、最新の研究にも触れることができますよ！

博物館では、プラネタリウムや太陽観測、そして子ども向けのイベント（クイズラリーやビンゴゲーム、実験コーナーなど）も用意してお待ちしています！

（詳しくは 博物館 HP や 観測所 HP：<http://www.cc.nao.ac.jp/oao> をご覧ください）



イベントのお問い合わせは 岡山天文博物館 へ（月曜は休館日です）

TEL：0865(44)2465 HP：<http://www.rweb.ne.jp/astro/index.html>